

会社の概要 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社 ノジマ(コード:7419)	
英文名	Nojima Corporation	
設立	1962年4月	
資本金	63億3,050万円	
役員	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役 兼 代表執行役 社長 野島 廣司 ● 取締役 兼 代表執行役 副社長 野島 亮司 ● 取締役 兼 常務執行役 福田 浩一郎 ● 取締役 兼 常務執行役 温 盛 元 ● 取締役 兼 執行役 鍋島 賢一 ● 取締役 兼 執行役 田之頭 泰彦 ● 取締役 兼 執行役 高橋 博昭 ● 取締役(社外) 星名 光男 ● 取締役(社外) 経沢 香保子 ● 取締役(社外) 郡谷 大輔 ● 取締役(社外) 池田 純 ● 取締役(社外) 平本 和生 ● 取締役(社外) 高見 和徳 ● 取締役(社外) 山田 隆持 ● 取締役(社外) 松本 晃 ● 執行役 大嶽 友洋 ● 執行役 多田 雅哉 ● 執行役 永山 盛史 ● 執行役 富所 貴生 ● 執行役 國井 弘文 	
	(2019年9月30日現在)	
従業員数	社員 5,609名 / 契約社員・パートタイマー 2,911名 (連結)	

株主メモ (2019年9月30日現在)

決算期	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 / 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先)	〒137-8081 / 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
公告掲載	電子公告 公告掲載URL http://www.nojima.co.jp/ir ※やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待のご案内

株主優待券	3月31日および9月30日現在で議決権を有する株主に対し、年2回贈呈
利用方法	現金、デビットカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の10%が割引になります。またクレジットカード、ノジマエポスコード、ノジマジャックスカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になります。但し、ノジマオンラインでの購入の場合は後日ノジマオンラインポイントにてポイント返還、または相当額を銀行振込にて割り戻します。詳細については、株主優待券同封書類をご参照ください。
有効期限	● 3月31日発行基準の優待割引券 / 翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券 / 翌年7月31日まで有効
取扱店舗	● 株式会社ノジマの全店舗 (詳しくは当社ホームページ (http://www.nojima.co.jp) をご参照ください) ● ノジマオンライン※店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社の取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、ノジマオンラインでのご利用をお勧めします。



株式会社 ノジマ 〒220-6126 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号 クイーンズタワーB 26階
TEL.045-228-3546(代) FAX.050-3116-1250
「投資家のみなさま」問い合わせアドレス info@nojima.co.jp

- IR情報Webサイト <http://www.nojima.co.jp/ir/>
IR情報ページでは、決算短信、有価証券報告書等のIR関連資料、株式事務に関する情報といった株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。
- ノジマオンライン ホームページURL <http://online.nojima.co.jp/>



スポーツを通じ日本を元気に



株主のみなさまへ

第58期 中間報告書 2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



フォレストモール甲斐竜王店(山梨県甲斐)



電子棚札全店導入



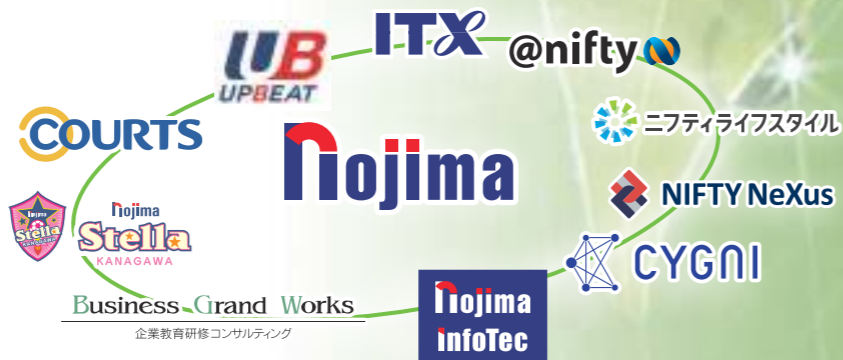
ノジマの志

お客様に
 デジタルGS4を普及させ、日本の発展に貢献する。
 【Goods・Soft・Support・Service・Setting】
 デジタル一番星

全員経営理念

～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

- 社会に貢献する経営
- オープンで公正な経営
- 独創的で革新的な経営
- 人間愛がある経営
- 向上心がある経営



■ ごあいさつ	P. 2	■ CSR活動	P. 8
■ トップメッセージ	P. 3～4	■ 財務ハイライト	P. 9
■ トピックス	P. 5～6	■ 決算の概況	P. 10
■ 新店紹介・店舗数推移	P. 7	■ 会社の概要・株主メモ・株主優待のご案内	P. 11

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
 さて、当社第58期(2020年3月期)の中間報告をお届けするにあたり、当社グループの業績の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策等の効果もあって、緩やかな景気回復基調が続いております。個人消費につきましては、緩やかに持ち直しているものの、消費者マインドは弱含んでおります。

家電販売業界につきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の影響もあり、TV、冷蔵庫、洗濯機、PC本体等が好調に推移したほか、エアコンが堅調に推移いたしました。業界全体では好調に推移しております。

携帯電話等販売業界につきましては、電気通信事業法の一部改正に始まる、過度な販売競争の抑制を受け需要が低迷する中、2019年6月には携帯会社各社より、端末と契約を切り離れた分離プランが提供開始され、キャリアブランドの端末販売台数は低調な推移を続けております。

インターネット接続サービス業界につきましては、移動系高速ブロードバンド接続サービスの契約数が大幅に増加している一方、固定系ブロードバンド接続サービスは、主力のFTTH接続サービスの契約数の伸び率が鈍化傾向にあります。インターネット広告市場につきましては、主にスマートフォンの利用者拡大を背景に拡大基調にあります。

このような状況下におきまして、当社グループは「デジタル一番星」、「お客様満足度No.1」を常に追求し、その実現のために「選びやすい売場」及び「お客様の立場に立った接客」を心がけ、コンサルティングセールスのレベルアップやお客様のニーズに合致したサービスの充実に取り組んでまいりました。

デジタル家電専門店運営事業では、変化するお客様のライフスタイルに応えるため、勉強会や研修を通して知識・経験の共有及び深化を図り、お客様のニーズを満たす新しい商品・サービスの充実に取り組んでおります。

キャリアショップ運営事業及びインターネット事業では、新卒社員の採用強化や、教育・研修の推進、更に当社グループにおける経営方針の共有を通じて、グループとしての一体感を醸成するとともに、生産性の向上及び一層の店舗品質の向上に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,696億34百万円(前年同四半期比109.6%)、営業利益は117億35百万円(前年同四半期比124.7%)、経常利益は130億34百万円(前年同四半期比123.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は92億51百万円(前年同四半期比125.4%)となりました。

なお、中間配当につきましては、業績動向を踏まえ、前期より1円増配、更に記念配当の2円を加え、1株につき20円とさせていただきます。

今後とも、グループの総合力を高めながら、株主の皆さまのご期待に応えられるよう、さらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、皆様の変わらぬご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

代表執行役社長 野島 廣司